

---

# それでも私はあなたを夢と思う

かめれおん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

それでも私はあなたを夢と思う

### 【Nコード】

N3139M

### 【作者名】

かめれおん

### 【あらすじ】

人の死は突然訪れます。

そのときの心情です。

突然聞かされたあの子の死は、  
当然受け入れることが出来るはずもなかった。

電話越しに聞こえる彼女の少し笑う声が  
余計にそう思わせたのかも知れない。

別にあの子とはなんでもないが、よく遊んでいた子だった。  
しかし、彼女は冗談を言い合うタイプの人でもない。  
とりあえず、昼過ぎにお焼香を上げに行くこととなった。

線香の香りと、お昼なのに灯しているろうそくの光  
大きな写真。

それが偽者でもなんでもないことは、すぐにわかった。

一緒に遊んだ思い出話を語りながら、写真を見たり私が撮った写メ  
を見せたりした。

確かに撮ったのは私なのに、  
それが本当に存在していたものなのか不思議なくらい

軽かった。

あの子の死が、いまいち結びつかなかった。

明日、あの服買いに行くんだ、ってという話をするかのよう  
にお仏壇の話をする。

人は死んだらどこへ行くんだろう。  
そんなことを、考えて、

そして、笑う彼女が心配だった。  
死を悔やむより、生きているその子のほうが心配になった。

私は、薄情な人間なのだろうか？

この手に触れたはずなのに、今は存在しないあの子を  
夢の中で会った子のように感じてしまう。

メールに、また思い出を巡ろうと入っていた。

顔もどんなこととしてたかも、思い出せるのに、

それでも私は夢と違ってしまふ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3139m/>

---

それでも私はあなたを夢と思う

2011年10月4日20時37分発行